

漫才「究極の二択」 3分

A：ボケ

B：ツッコミ

AB「どうもーお願いします」

A「あの一究極の二択ってやつあるじゃないですか」

B「究極の二択？」

A「そう。例えばうんこ味のカレーか、カレー味のうんこか、みたいなやつね」

B「あー、そういう意見が割れる二択の質問みたいなやつね」

A「そうそう。あれってなんで意見が割れるのかっていうと、これに"正解"がないからなんですよね」

B「まあたしかにそうだね」

A「だから俺今回そのうんこ味のカレーか、カレー味のうんこかの、答えを持ってきました」

B「え、答え?...どういこと?あれに答えとかないでしょ」

A「僕今日...

これどっちも食べてきました！」

B「ええー!!...お前ー!!体張ったなあ!!!

たしかに、今日は心なしか臭い気がするわ！」

A「それは元からです！」

B「ああごめんなあ！」

A「で、これの答えが出たんで、今日この場で発表したいと思います」

B「うわ、気になるなあ」

A「じゃあ早速発表します。

うんこ味のカレーかカレー味のうんこか、どっちが良いかというと！」

...

A「うんこ味のカレーです！！」

B「うわー！！！！うんこ味のカレーだー！！！！
えー！やっぱそうなんだ！」

A「そうなんだよ、意外にもね」

B「いや別に意外じゃないけど。えーでもそうかあ。
え、その、うんこ味のカレーの"うんこ味"ってのはどうやって再現したの？」

A「それは普通にうんこを一回食べて、」

B「こいつ素のままいってる！！
お前一回ノーマルうんこいってるじゃん！」

A「いやそりゃ食わないと正確に再現できないからね」

B「いやこれうんこ味のカレーと、カレー味のうんこと、ノーマルのうんこがあったら、これノーマルうんこが1番嫌だから！！！」

A「いや変にカレー味がついてるほうが気持ち悪いわ」

B「あー経験者しかわからないやつだ！！！」

A「あとは他にもさ、よく言われてる二択で言うと、『海で自分の家族と恋人が溺れてる時どっちを助けるか』ってやつあるじゃん」

B「あーたしかにそれはよく聞くよね。
.....え？まさか...！」

A「...これどっちも試してきました！！」

B「ええええええ！！！！
何やってんだよおおおー！！！！！」

A「一回お母さんと恋人を同時に溺れさせてきました！」

B「良いわけあるかあ！！！！！！
...お前自分で溺れさせた後にそれよく助けに行けるなあ！！」

A「で、これもね、答えが出たので本日ここで発表したいと思います」

B「えー！でも気になる！！」

A「溺れてる母親と恋人、どっちを助けるかというと！」

...

A「母親です！！」

B「母親だ——！！！！

うわやっぱり母親かあ～！！まあしかにそうかあ」

A「これはさすがに母親に軍配が上がったね」

B「え、ちなみにその彼女はどうしたの？」

A「まあそれはお母さんを一回助けあとに、彼女も助けてあげたね」

B「"助けてあげた"ってお前自分で溺れさせて、なんでそんな上から行けるんだよ」

A「でもまあお前の言いたい事もわかるよ」

B「え？」

A「これ母親だったからこういう結果になったんじゃないかって思ってると思うんだよ。
他の家族だったらまた違ってくるんじゃないかなって」

B「いや思ってないよ」

A「なので今回...全パターンで試してきました！」

B「え、なになに！？どういうこと！？全パターン！！？」

A「だから、お父さんと恋人とか、お姉ちゃんと恋人とか」

B「お前彼女可哀想だろ！！！！！！

『私一日に何回溺れさせられるんだ』って思うだろ！！」

A「ちなみに、これ色んなパターンでの結果は！」

…

A「全部家族でした！」

B「彼女可哀想だろおおー！！！！

毎回家族が助けられたあとに自分助けられて、その後また溺れさせられて！！！」

A「あ、でもこの結果で分かったことが一個あって」

B「なに？」

A「何回も彼女を溺れさせたらフラれるってのが分かったんだよね」

B「いやそりゃそうだろー」

AB「どうもありがとうございましたー」